

第 2 回有識者会議追加提出意見等について

意見提案者	新井 小枝子 委員
項目	内容
1) 過疎地域自立促進方針素案(たたき台)について	<p>1 何を言わんとしているのかを、一度読んだだけですぐにはわかるようにしたいと思いました。たとえば、この度の修正で頻出する「地域資源」。この語が一体何を表しているのか、整理できていない印象を受けました。「観光資源」とは何か、「地域資源」とは何か整理できると、より明瞭になると思いました。</p> <p>素案の中から、「観光資源」や「地域資源」の文言が使われている部分を、可能な限り抜き出してみます。以下がそれです。</p> <p>① 2 ページ・2 行目 豊かな自然環境と観光資源</p> <p>② 7 ページ・4 行目 豊かな自然、観光資源、歴史・文化・伝統などの地域資源</p> <p>③ 9 ページⅡ・6 行目 過疎地域の農産物、森林資源、水資源のほか、伝統文化や歴史といった地域資源を</p> <p>④ 10 ページ・5 行目 豊かな自然や観光資源、再生可能なクリーンエネルギー、安全な食料、歴史、伝統文化、文化遺産などの地域資源</p> <p>⑤ 12 ページ(1)・13 行目 地域資源を活かした起業(新井:ここでの地域資源が何を指しているかは読み取れません)</p> <p>⑥ 14 ページ4)・1 行目 本県過疎地域の森林は、.....保健休養や教育文化活動、レクリエーションの場としての優れた観光資源でもあることから</p> <p>⑦ 15 ページ(3)・2 行目 地場産業の振興に当たっては、木製品・食品関連・繊維等の各種産業において過疎地域の特性を生かして、製品の高品質化・高付加価値化をはかるとともに、地</p>

域資源の活用による消費者ニーズに適合したぐんまブランドとなるような新製品の開発を促進します。（新井：ここでの地域資源が何を指しているかはよく読み取れません）

- ⑧ 16 ページ（5）・10 行目
地域独自の農林水産物だけでなく、獅子舞、方言、歴史といった文化を地域資源として
- ⑨ 17 ページ（7）・1 行目
本県の過疎地域は、豊かな自然や文化的資源……新たな地域観光資源を発掘するとともに、群馬デスティネーションキャンペーン（平成23年度）を契機として、多彩な地域資源を組み合わせたネットワークづくりなどソフト面での
- ⑩ 27 ページ（1）・2 行目
歴史や風土に根ざした貴重な伝統文化や風習、行事等を保存・継承するとともに、地域資源を生かした新たな地域文化（新井：破線部はここだけにみられる特有の文言か）
- ⑪ 27 ページ・-2 行目
地域に存在する多くの歴史的・文化的資源等の計画的な整備
- ⑫ 30 ページ（1）・-3 行目
地域にある温泉や、数多い道祖神、小栗上野介関連史跡をはじめとした歴史遺産などの地域資源
- ⑬ 30 ページ（2）・-4 行目
桜山森林公園、三波石峡、恐竜センター、天空回廊、神流川発電所などの豊富な観光資源を、湯の沢トンネル開通により交通アクセスが向上した南牧・下仁田地域の観光施設と広域的なネットワークで結び、奥多野周遊コースとして新たな観光資源の掘り起こしを行います。
- ⑭ 32 ページ（3）・1 行目
温泉をはじめとする観光資源
- ⑮ 32 ページ（3）-10 行目
高原キャベツの一大産地を維持しながら豊かな観光資源と農林業との連携を進め
- ⑯ 33 ページ・19 行目
……に代表される美しい山々、利根川、ならまた湖、奥利根湖などの豊かな自然環境を観光資源として活用

し、

⑰ 34 ページ・-4 行目

「わたらせ渓谷鐵道」沿線は、当地域最大の観光資源でもあります。

これらに目を通してみると、おおむね以下のようにまとめられましょうか。

地域資源

自然環境

産業（農業、林業など）

文化（歴史〈人物、遺産など〉、民俗〈衣食住、習慣習俗など〉、ことば〈方言、文学など〉）

エネルギー

森林資源（9 ページ、14 ページ）

漁業資源（14 ページ）

観光資源：観光に直結するあるいは観光を目的としてとらえる地域資源？自然環境を除く地域資源？

このように整理してくると、「観光資源」という語に何を込めようとしているのかが、わかりにくいと言えそうです。そこを整理して修正すると、明瞭さが増すように思いました。必要であればご検討ください。

さらに、①～⑰まで並べてみると、⑨と⑰にあげた部分は、一つの書類の中では異質に見えます。具体的には、波線を付した文化的資源や、水色マーカーを付した地域観光資源、歴史的・文化的資源等という言い方は、他の部分には見当たらないように思います。また、8 ページ～17 ページで「地域資源」というとらえ方をかなり打ち出しているのに、30 ページ～34 ページの地域別の部分では、「観光資源」という点だけに注目が集まっているようにも見えます。過疎地域は思いもよらない「地域資源」に恵まれているという視点があってこそその「観光資源」だと考えるのであれば、それがわかるように書きたいと思いました。

あらためて、文化に関する部分で、文言の統一がとれていないと思われる箇所について、私の気がついていることを記します。修正するのであればという案を記しておきますのでご検討ください。

- ① 2 ページ・2 行目
豊かな自然環境と観光資源→（このままでもよいかもしれませんが、どうしても「観光資源」としておくかどうか精査すべきですか。）
- ② 7 ページ・4 行目
歴史・文化・伝統などの地域資源→案：歴史、民俗、ことばなどの地域資源
- ③ 9 ページⅡ・6 行目
過疎地域の農産物、森林資源、水資源のほか、伝統文化や歴史といった地域資源を→案：過疎地域の農産物、森林資源、水資源のほか、歴史や伝統文化といった地域資源を
- ④ 10 ページ・2 行目
過疎地域が持つ文化や伝統を地域住民が見つめ直す機会となり、→案：過疎地域が持つ歴史や伝統文化を地域住民が見つめ直す機会となり、
- ⑤ 10 ページ・4 行目
地域の誇りや文化・伝統→案：地域の文化や誇り
- ⑥ 16 ページ（5）・10 行目
地域独自の農林水産物だけでなく、獅子舞、方言、歴史といった文化を地域資源として→案：歴史、民俗、ことばをはじめとする有形、無形の文化を地域資源として
- ⑦ 27 ページ（1）・2 行目
歴史や風土に根ざした貴重な伝統文化や風習、行事等を保存・継承するとともに、地域資源を生かした新たな地域文化→案：地域の生活に根ざした歴史や伝統文化を保存・継承するとともに、地域資源を生かした地域文化

以上、「地域資源」は今回の方針のキーワードになるように思いましたので、「観光資源」と合わせて整合性をとるための方策を考えたつもりです。このほかにも、全体を読んでいて整合性を確かめたい文言もありそうなので、可能な限り思いをめぐらす必要があると思いました。

2 28 ページ（3）は、一文が長いために、わかりにくいと思います。内容を整理して、二文か、三文にしていけませんか。もう少し整理した方がいいように思います。

<p>2) 山村振興基本方針 素案(たたき台)について</p>	<p>参考資料⑨の記載例とつきあわせながら拝見しました。こちらの素案についても、「地域資源」に関わる点が気になります。ここでは1)と同様の作業はしませんが、文化に関する部分について気になったことを記します。</p> <p>① 9 ページⅢの1・5行目 地域に根ざした方言・伝統芸能といった独自の優れた文化が残る振興山村→案：地域の生活に根ざしたことばや伝統芸能をはじめ、独自の優れた文化を有する振興山村</p> <p>② 13 ページ キ・3行目 振興山村の持つ自然や景観、歴史や文化、温泉、食などの地域資源の活用や農林業との連携→ここはこのままで良いと思います。</p> <p>③ 14 ページ(6)・1行目 史跡、遺跡、民俗文化財の他、方言や伝統芸能といった固有の歴史的・文化的遺産を数多く有しているが、 →案：史跡、遺跡、民俗文化財の他、地域の生活に根ざしたことばや伝統芸能といった固有の歴史的・文化的遺産を数多く有しています。このような有形、無形の地域文化について、</p>
<p>3) 過疎・山村地域の 価値や役割について</p>	<p>過疎山村地域の価値であり、かつ、役割であると思われるところを箇条書きにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○きれいな水、きれいな空気、安定したエネルギーを供給する地 ○日常生活の基本である衣食住に関わるあらゆる物資を生産供給する地 ○長い歴史のなかで育まれた独自の文化がいきづき、保存と継承が主体的になされている地 ○厳しい自然環境の中で生きていくための知恵と工夫にあふれる地 ○人間にとってきわめて素朴なしあわせにあふれる地

4) その他
(過疎方針・山村振興
基本方針の全体に関
するご意見・ご提案)

過疎方針(3)のⅢ「ひと」を育てる、の部分で、「過疎地域の外に出ていこうとする人も、もともと外にいる人も育てるのだ」というニュアンスを入れ込む必要はありませんか。資料③で教えていただいた「過疎地域のイメージ」を、たとえ時間がかかったとしても少しずつ変えていく努力が必要なのだろうと切に思うからです。過疎地域が果たしている重要な役割を、その地域の外に出ても正確に語れる「ひと」、その地域の外にいたとしても正確に認識できている「ひと」を育てる必要があると考えます。外に出て行く人から、もともと外にいる、すなわち都会に住む人たちへの波及効果はとくに期待したいのですが、浅薄にすぎまじょうか。

過疎方針 14 ページの 2) に「特に若い女性が労働力として」とあります。ここはこのままだもいいと思います。しかし、じつは、これからの時代を生きていくために期待がかかっているのは女性だけでなく、若者だけでもないはずで、すべての人に期待がかかっているのだと考えた方がいいように思っています。このような文言で取りあげられた当事者(ここでは「若い女性」)はもちろんのこと、その周りにいる人たちが、そのように特化されてしまったために、しらけてしまうことのないようにしたいと思っています。